

科目名	総合日本語初級 I										
科目名(英)											
単位数	18単位		時間数		278時間		担当者		河崎新弥		
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(2年)1年										
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基礎となる言葉や文法を学びます。学校、寮、アルバイト先などでコミュニケーションができるようになることを目指します。										
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○		○		教室や寮、アルバイト先など日常生活のよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。					
	○	○		○		教室、寮、店や駅、アルバイト先などの身近な場面で簡単なやりとりをしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。					
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級 I・II 第2版』スリーエーネットワーク 2012年										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1～14	第1課～第3課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
	14～32	第4課～第7課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
	33～54	第8課～第12課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
	55～72	第13課～第16課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
	73～86	第17課～第19課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
	87～100	第20課～第22課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
	101～116	第23課～第25課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
	117～139	第26課～第30課					授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	定期試験	◎		◎						50%	
	確認テスト	◎		◎				○		50%	
履修上の注意											

科目名	読解初級Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	河崎新弥
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	お知らせ、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなど様々な読み物を通して、「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わいます。						
授業形式	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		ひらがな、カタカナ、基本的な漢字で書かれた平易な文章を読んで理解することができる。	
	○	○		○		読み取った内容を自分の生活と照らし合わせ、何らかの感想を持つことができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第6課・第7課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	2	第8課・第9課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	3	第10課・第11課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	4	第12課・第13課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	5	第14課・第15課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	6	第16課・第17課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	7	第18課・第19課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	8	第20課・第21課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	9	第22課・第23課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	10	第24課・第25課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	11	第26課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	12	第27課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	13	第28課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	14	第29課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	15	第30課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	聴解初級Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	河崎新弥
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	メインテキストの学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使った会話などを聞き取る練習をします。ポイントをつかむ練習と細部まで正確に聞き取る練習を行います。						
授業形式	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『聴解タスク25』スリーエーネットワーク 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1課・第2課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	2	第3課・第4課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	3	第5課・第6課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	4	第7課・第8課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	5	第9課・第10課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	6	第11課・第12課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	7	第13課・第14課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	8	第15課・第16課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	9	第17課・第18課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	10	第19課・第20課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	11	第21課・第22課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	12	第23課・第24課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	13	第25課・第26課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	14	第27課・第28課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
	15	第29課・第30課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	会話初級Ⅰ											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		河崎新弥			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	日本語科(2年)1年											
授業概要	メインテキストの学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って話す練習をします。											
授業形式	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標						
	○	○		○		身の回りの日常的な場面で、よく使われる言葉を使って、簡単なやりとりができる。						
	○	○		○		自分の国や家族、趣味や興味のあることなどについて話すことができる。						
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ 第2版』スリーエーネットワーク 2012年											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	第1課・第2課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	2	第3課・第4課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	3	第5課・第6課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	4	第7課・第8課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	5	第9課・第10課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	6	第11課・第12課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	7	第13課・第14課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	8	第15課・第16課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	9	第17課・第18課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	10	第19課・第20課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	11	第21課・第22課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	12	第23課・第24課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	13	第25課・第26課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	14	第27課・第28課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
	15	第29課・第30課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)					
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)中間試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	定期試験		◎		◎							50%
	中間試験		◎		◎				○			50%
履修上の注意												

科目名	作文初級Ⅰ											
科目名(英)												
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		河崎新弥			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	日本語科(2年)1年											
授業概要	メインテキストの学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って書く練習をします。											
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○		○		初級の言葉や文型を使って、文章の構成に注意しながら、身近なテーマで自分の表現したいことを書くことができる。						
	○	○		○		正しく読みやすい文字で作文が書ける。						
テキスト・教材 参考図書	門脇薫『やさしい作文』スリーエーネットワーク 2018年											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	自己紹介					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
	2	わたしの部屋					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
	3	わたしの国・町					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
	4	わたしの家族					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
	5	週末					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
	6	はがき					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
	7	プレゼント					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
	8	旅行					授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	定期試験		◎		◎							50%
	宿題		◎		◎				○			50%
履修上の注意												

科目名	総合日本語初中級Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	14単位		時間数	218時間		担当者	檜崎幸彦
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	前半は聞くこと、話すことを中心に基本的な言葉や文法を学びます。後半は日常的なテーマの教材を使い、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を総合的に学習します。						
授業形式	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日常的な話題について書かれた具体的な内容の文章を読んで理解できる。	
	○	○		○		日常的な場面の自然に近いスピードで話される会話を聞いて、ほぼ理解できる。	
	○	○		○		事前に準備しておけば、簡単な説明やスピーチができる。	
	○	○		○		身近なテーマについて、段落のある簡単な作文が書ける。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ第2版』スリーエーネットワーク 2012年 平井悦子・三輪さち子『中級へ行こう第2版』スリーエーネットワーク 2016年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～17	第25課～第30課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	18～34	第31課～第35課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	35～51	第36課～第40課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	52～68	第45課～第45課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	69～89	第46課～第50課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	90～94	第1課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	95～99	第2課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	100～104	第3課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
	105～109	第4課				授業の前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	読解初中級 I											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		檜崎幸彦			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	日本語科(2年)1年											
授業概要	お知らせや説明書などの身の回りの文書や、簡単な言葉で書かれた新聞記事や小説、意見文、説明文などが読めるようになることを目指します。											
授業形式	講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○		○		日常的な話題について書かれた具体的な内容の文章を読んで理解できる。						
	○	○		○		知らない言葉や文法が多少あっても、前後関係から意味を推測できる。						
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『初級で読めるトピック25』スリーエーネットワーク 2016年 佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN3読解』アスク出版 2017年											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	第26課・第27課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	2	第28課・第29課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	3	第30課・第31課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	4	第32課・第33課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	5	第34課・第35課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	6	第36課・第37課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	7	第38課・第39課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	8	第40課・第41課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	9	第42課・第43課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	10	第44課・第45課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	11	第46課・第47課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	12	第48課・第49課					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	13	第50課・第1週1日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	14	第1週2日目・3日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	15	第1週4日目・5日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	定期試験		◎		◎							50%
	中間試験		◎		◎				○			50%
履修上の注意												

科目名	聴解初中級Ⅰ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	檜崎幸彦
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日常的な場面でのやや自然に近いスピードの会話を聞いて、話の具体的な内容がほぼ理解できるようになることを目指します。						
授業形式	講義: ○		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		周りの人との雑談や自由な会話で、だいたいの内容が理解できる。	
	○	○		○		指示や説明などから必要な情報を聞き取り、何をするべきか理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『聴解タスク25』スリーエーネットワーク 2018年 佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN3聴解』アスク出版 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第26課・第27課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	2	第28課・第29課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	3	第30課・第31課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	4	第32課・第33課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	5	第34課・第35課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	6	第36課・第37課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	7	第38課・第39課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	8	第40課・第41課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	9	第42課・第43課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	10	第44課・第45課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	11	第46課・第47課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	12	第48課・第49課				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	13	第50課・第1章1				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	14	第1章2・3				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
	15	第1章4・5				教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと。(30分)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	会話初中級Ⅰ										
科目名(英)											
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		檜崎幸彦		
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験				
対象学科・学年	日本語科(2年)1年										
授業概要	身近で日常的な話題について、初級で学んだ語彙や文法を使って会話ができるようになることを目指す。										
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				身の回りの日常的な場面で、誤解をしたり誤解を与えたりすることなく、簡単なやりとりができる。					
	○	○				初級で学んだ語彙や文法を的確に使って、身近で日常的な話題(趣味や週末の予定など)について会話ができる。					
	○	○				準備をしていればフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。					
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版』スリーエーネットワーク 2012年 西口光一『日本語おしゃべりのたね』スリーエーネットワーク 2007年										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	第26課・第27課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	2	第28課・第29課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	3	第30課・第31課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	4	第32課・第33課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	5	第34課・第35課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	6	第36課・第37課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	7	第38課・第39課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	8	第40課・第41課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	9	第42課・第43課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	10	第44課・第45課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	11	第46課・第47課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	12	第48課・第49課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	13	第50課					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	14	ユニット2 いadakimaーす					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
	15	ユニット4 ジェスチャーで伝えよう					習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)				
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)中間試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	
	定期試験	◎		◎						50%	
	中間試験	◎		◎				○		50%	
履修上の注意											

科目名	作文初中級Ⅰ											
科目名(英)												
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		檜崎幸彦			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	日本語科(2年)1年											
授業概要	作文を書くことに慣れ、初級で学んだ言葉や文法を使って身近なテーマの400字程度の作文が書けるようになることを目指します。											
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○		○		話し言葉と書き言葉を使い分けることができる。						
	○	○		○		原稿用紙の使い方も含め、正しい表記ができる。						
	○	○		○		具体的な例を挙げて分かりやすく説明できる。						
	○	○		○		自分の気持ちを豊かに表現できる。						
テキスト・教材 参考図書	門脇薫『やさしい作文』スリーエーネットワーク 2018年											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	もしわたしが二人いたら						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
	2	趣味						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
	3	日本でびっくりしたこと						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
	4	わたしの夢						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
	5	ごみ：国との比較(1)						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
	6	交通：国との比較(2)						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
	7	わたしの周りの最近のニュース						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
	8	わたしの国の有名な人						授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	定期試験		◎		◎							50%
	宿題		◎		◎				○			50%
履修上の注意												

科目名	文字語彙初中級Ⅰ							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	檜崎幸彦	
実施年度	2022年度		実施時期	前期		担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(2年)1年							
授業概要	日常生活でよく使われる約1200語を、短い文や語句、イラストを使って効率よく学びます。JLPT N3の言語知識だけでなく、読解や聴解にも役に立ちます。							
授業形式	講義　○		演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○　その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○	○		○		日常的な場面で必要な語彙の意味や用法を正しく理解し、使うことができる。		
	○	○		○		習った言葉の正しい発音や表記ができる。		
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN3語彙』アスク出版　2010年							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	第1週1日目・2日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	2	第1週3日目・4日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	3	第1週5日目・6日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	4	第1週7日目・第2週1日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	5	第2週2日目・3日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	6	第2週4日目・5日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	7	第2週6日目・7日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	8	第3週1日目・2日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	9	第3週3日目・4日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	10	第3週5日目・6日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	11	第3週7日目・第4週1日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	12	第4週2日目・3日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	13	第4週4日目・5日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	14	第4週6日目・7日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
	15	第5週1日目・2日目					授業前に該当範囲の新出語を予習し、授業後は復習をすること。(1時間)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	◎				50%	
	小テスト	◎	◎		○		50%	
履修上の注意								

科目名	文法初中級Ⅰ											
科目名(英)												
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		檜崎幸彦			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	日本語科(2年)1年											
授業概要	日常的な場面で使われる文法を学び、N3合格を目指します。											
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○		○		文の内容に合った文法形式かどうか判断できる。						
	○	○		○		統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てることができる。						
	○	○		○		文章の流れに合った文かどうかを判断できる。						
テキスト・教材 参考図書	佐々木仁子・松本紀子『日本語総まとめN3文法』アスク出版 2010年											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1	第1週1日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	2	第1週2日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	3	第1週3日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	4	第1週4日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	5	第1週5日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	6	第1週6日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	7	第1週7日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	8	第2週1日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	9	第2週2日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	10	第2週3日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	11	第2週4日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	12	第2週5日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	13	第2週6日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	14	第2週7日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
	15	第3週1日目					指定された宿題を行うこと。(1時間)					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	定期試験		◎		◎							50%
	中間試験		◎		◎				○			50%
履修上の注意												

科目名	日本事情Ⅰ											
科目名(英)												
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		河崎新弥・檜崎幸彦			
実施年度	2022年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	日本語科(2年)1年											
授業概要	日本の法律や習慣、学校の規則などを理解し、身近な人々と良い関係を築き、日本での留学生生活をスムーズにスタートすることを目指します。											
授業形式	講義:		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○		○		日本の法律や習慣、学校の規則を理解し、実践できる。						
				○		担任やクラスメート、アルバイト先の人などと良い人間関係を築くことができる。						
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しません											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	入学式						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
	2	オリエンテーション						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
	3	防災センター						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
	4	進路説明会						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
	5	バスハイク①						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
	6	バスハイク②						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
	7	バスハイク③						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
	8	バスハイク④						授業終了後の課題を行うこと。(30分)				
評価方法	(1)課題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
			言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他	評価割合
	課題		◎		◎				◎			100%
履修上の注意												